ホワイトレースフラワー
日持ち試験

品質カイゼン室の花のソコが知りたい！ホワイトレースフラワー編にてご紹介させて頂いたホワイトレースフラワー。
今回、水切りのち、生け水を水道水（水）と切花栄養剤の 2 区分で日持ち日数がどう変化するか調査しました。

✿試験結果✿

区分	日持ち日数
水	14日以上
切花栄養剤	14日以上

今回の当社での試験では両区分とも 14 日以上日持ちが確認されました。水揚げ後、茎がしっかりとし、ベントネックがありませんでした。
7 日目以降から総苞の褐変が徐々に確認されましたが目立つものではありませんでした。

✿実験内容✿

【品種】　ホワイトレースフラワー
【区分】　水切り後　生け水：　水　/　切花栄養剤
【環境】　温度：平均 26.0℃、湿度：約 60%、照度：約 1000Lux、照射時間：12 時間
【開始日】1 月 20 日

✿品質評価項目✿

散系花序のベントネック	A：ベントネックがない
	C：1/2 未満がベントネック
	D：1/2 以上がベントネック
雄ずい・雌ずいの落下	A：落下がない
	B：落下が始める
	C：落下があり、テーブルが白くなる

水揚げの様子、日持ち試験の様子を写真とともに見ていきましょう。

水揚げ

水切り後　試験区分：水

0 時間後

4 時間後

24 時間後

時間の経過とともに
花首が上がってきました。
水切り当初は大丈夫かな・・・・
ふと不安になってしまいましたが、全然大丈夫！と
レースフラワーに元気づけられるような水揚がりですね！

切花栄養剤の試験区部でも同様な結果を得ることが出来ました。

試験区分：切花栄養剤

水切り後すぐ

4時間後

24時間後

ホワイトレースフラワーは市場では乾式で輸送されています。基本水切りや空切りでも水が上がります。しかし、出始め当初、茎が柔らかい、弱そうだと見受けられるものがあれば湯揚げすることが推奨されています。

日持ち試験

生け水：水

５日目

11 日目

15 日目

生け水：切花栄養剤

５日目

11 日目

15 日目

両区分とも試験５日目より雄ずいの花ちりが確認されました。
１５日目でも散系花序のベントネックは確認されず、１４日以上日持ちすることが確認されました。

ただし、切花栄養剤を用いた場合、茎の褐変が確認されましたので使用の際は注意が必要です。

今回の日持ち試験を実施して、ホワイトレースフラワーの日持ちの良さ、茎の強さには驚きました！しっかり咲き切るホワイトレースフラワー、ウェディングや展示会でも大活躍ですね！

株）大田花き
品質カイゼン室